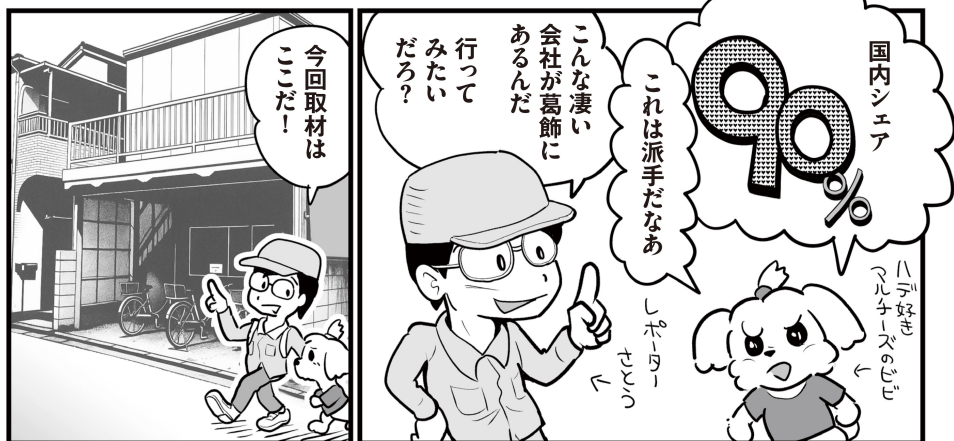
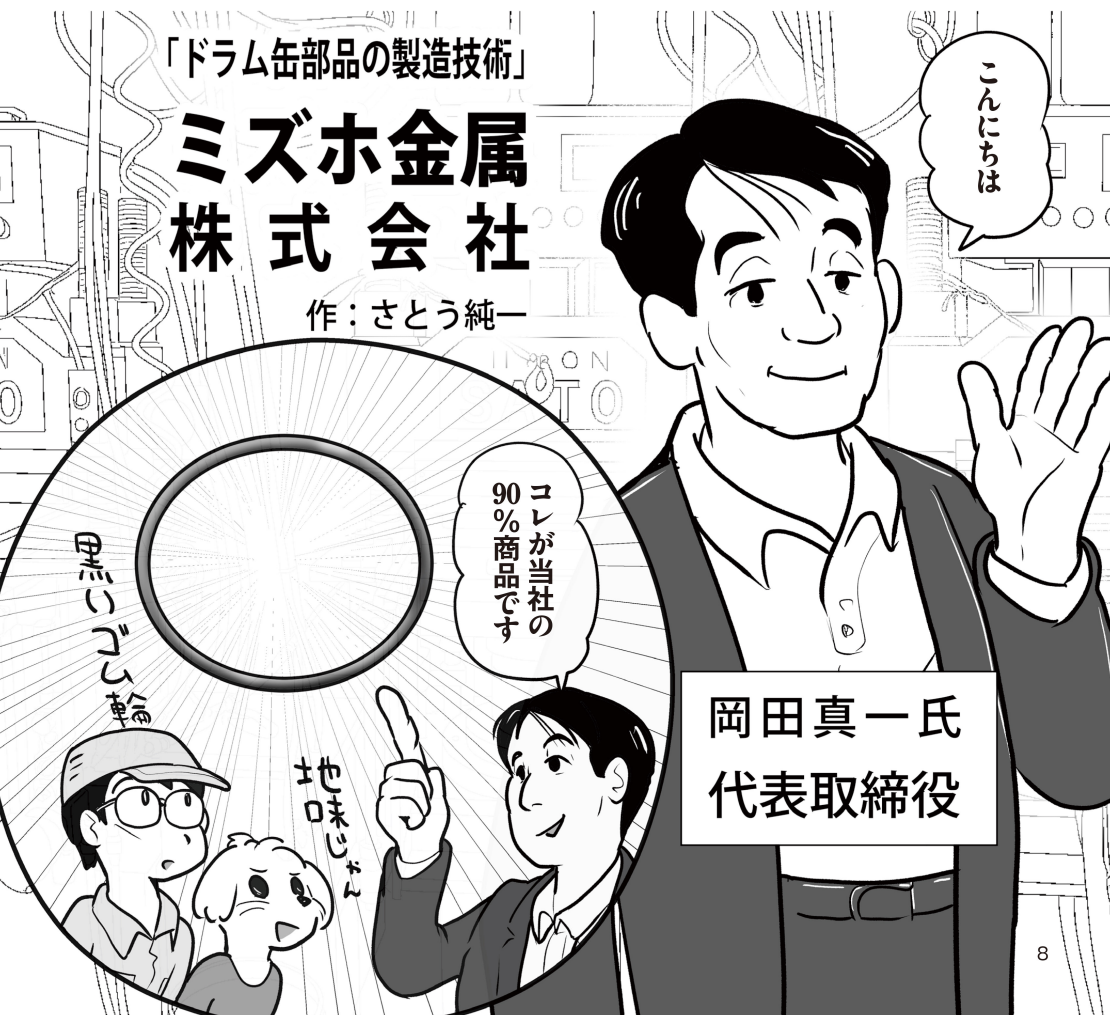




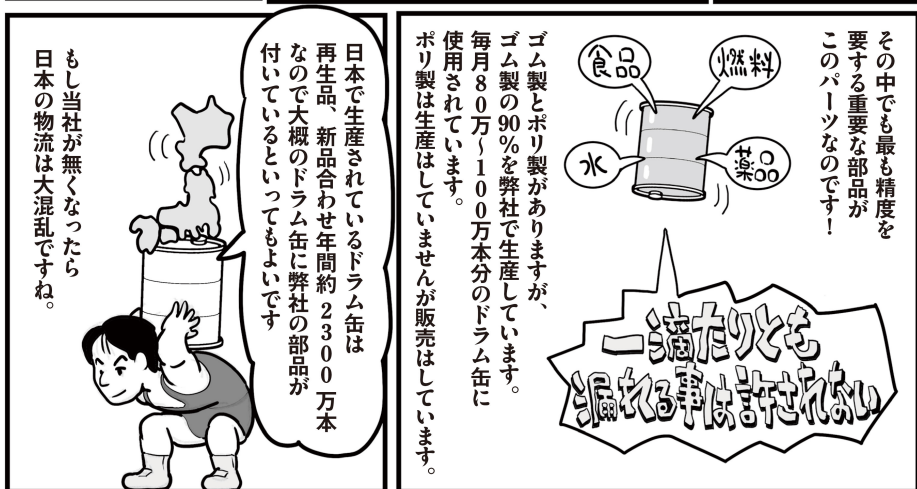
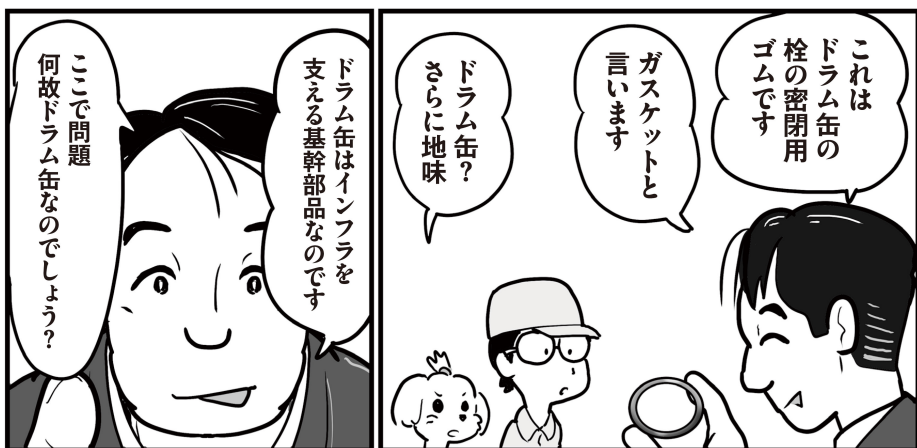
「ドラム缶部品の製造技術」

ミズホ金属 株式会社

作：さとう純一



岡田真一氏
代表取締役



ガスケットには
製造元マークがついています

漏れないドラム缶は何処の会社が
作ったものか一見でわかります

その信用のおかげで
ここまで来ました



その製造の秘訣は、

秘訣も無いし、さっと飛んでいける
魔法の絨毯みたいなものは無い
と思ってます

※稲盛哲学を
学んでいたの
です

思ってた
とおり
ありますね

全ては最初からできるのではなく
地味な努力の一步一步の積み重ね

人一倍努力するしかない

盛和塾出身



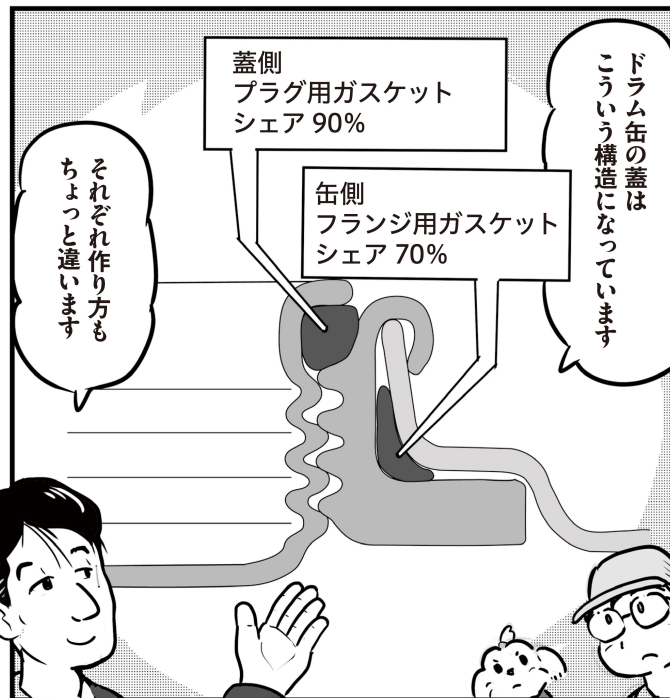
では実際どういう部分が
努力の積み重ねか？
工場を見てください

ドラム缶の蓋は
こういう構造になっています

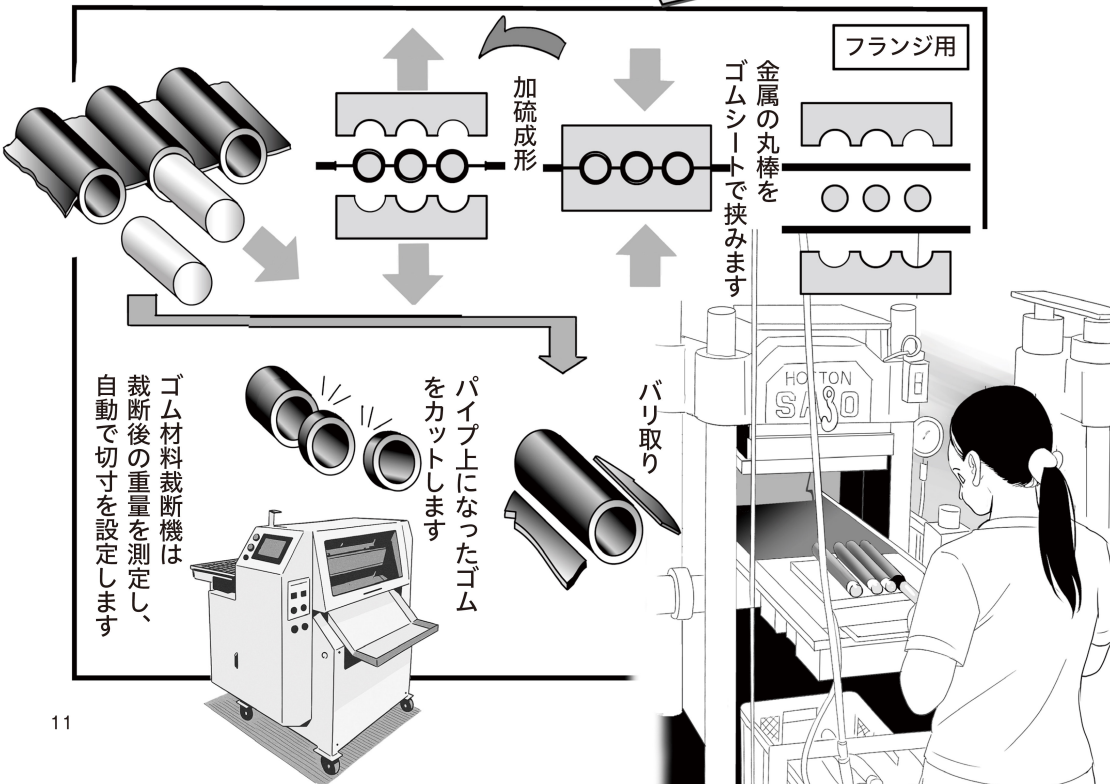
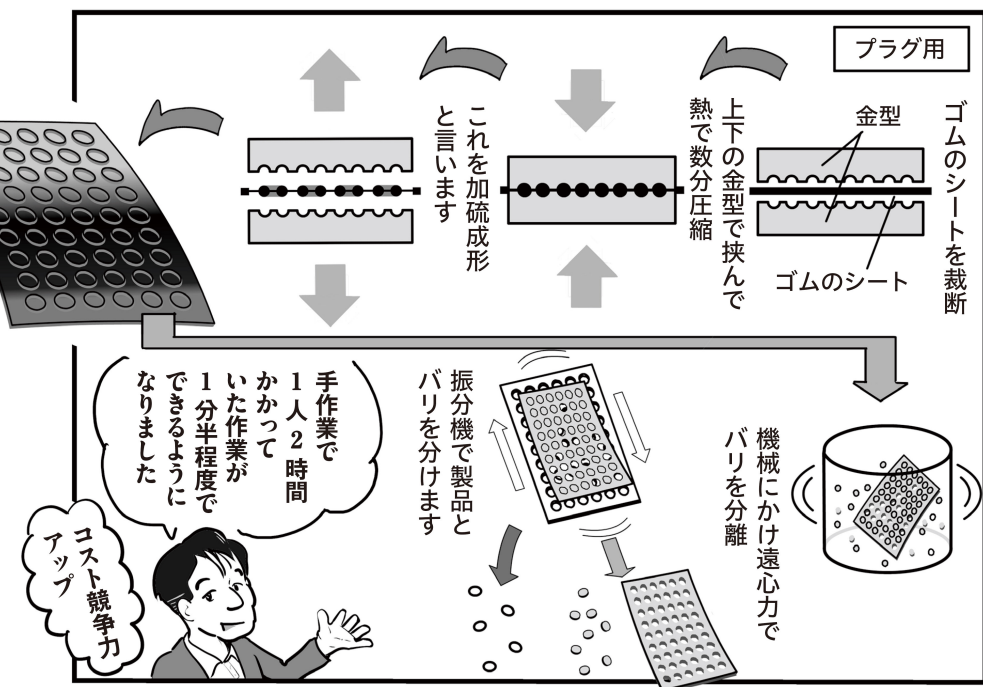
蓋側
プラグ用ガスケット
シェア 90%

缶側
フランジ用ガスケット
シェア 70%

それぞれ作り方も
ちよつと違います

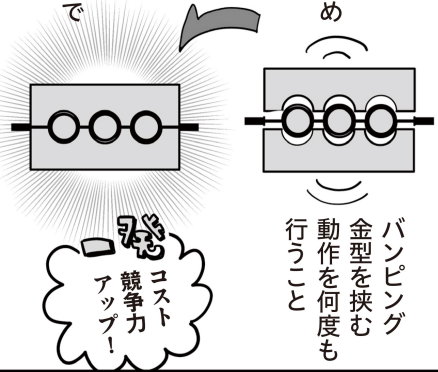


※稲盛和夫氏が説く、利他の心を基盤に、人間性を重視した経営哲学です。盛和塾は氏が主宰した経営者向けの私塾です。

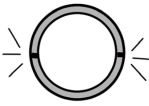


従来は焼き付け時に
金型との隙間に
気泡が入るのを防ぐため
バンピングと呼ばれる
工程がありました

しかしゴムの材質、
温度等の調整により
その作業を省き短時間で
作れる様になりました

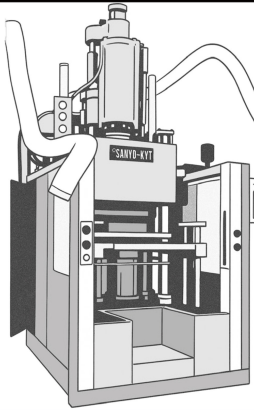


上下シートの
接合面強度が
キモです



当社は短時間で
焼くことで
強度の向上も
実現しました

更に福島の新工場には
接合を必要としない
インジェクション成形機も
導入しました

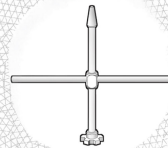


更にドラム缶周りの
金属製品の
製造も手掛けています

凸型スパナ

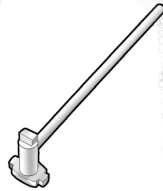


十字スパナ

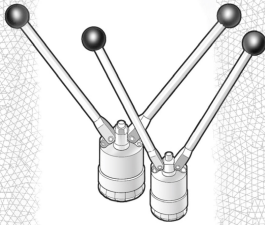


例えば
自社開発品

鉄プラグ用スパナ



封緘機



封緘用キャップを
容易に閉められます

軽い動作で口金(蓋)
をきっちり開閉
できます



